

# Linux+

Linux で稼働するシステムの運用 / 管理をする際に  
必須とされるスキルを評価する認定資格

## Fortify Your Organization with Linux+ Certification



CompTIA Linux+ は、Linux システムをセキュアで  
効率的に運用できる人材を育成する第一歩です

### Linux プロフェッショナルへの需要の高まり

Linux は、データセンター、仮想化システム、Web サーバーから、毎日何千万人もが利用する Android デバイスなど世界中の IT インフラストラクチャの大部分で利用されています。Linux の利用が高まるにつれ、適切なスキルを持った IT プロフェッショナルの需要も高くなっています。CompTIA Linux+ は、業務で求められる Linux スキルを網羅しているため、企業で必要とされるスキルニーズを満たすことができます。

### キャリアの向上

CompTIA Linux+ の取得によって、Linux OS で稼働しているシステムの基本スキルを習得することができ、システム管理者、開発者、セキュリティエキスパートといったキャリアを目指すことができます。

### ロイヤリティの高い社員

認定資格を取得している社員の 84% は、会社を辞めずに働き続けるため、スキルの高い従業員から長期に渡り恩恵を受けることができます。<sup>1</sup>

### 仕事に対する満足度

CompTIA 認定資格を保有する IT プロフェッショナルの 76% が自分の仕事に満足していると回答しています。<sup>2</sup>

### 採用時のツール

CompTIA Linux+ を求人票の応募条件に記載することで、適切なスキルを持ったスタッフを採用できる可能性が高まります。

### グローバルな認知

CompTIA Linux+ は、Linux 管理者に必須とされるスキルが網羅されているベンダーニュートラルの認定資格として広く認知されています。

### サイバーセキュリティへの心構え

広く一般に使用されているソフトウェアやサービス提供のプラットフォームとして Linux が利用されています。サイバーセキュリティの観点では、Linux はますますターゲットとしての危険度が高くなっています。CompTIA Linux+ は、Linux 環境をセキュアに管理 / 維持するために必須となるスキルを評価します。

### 信頼性 / 公平性の高い認定資格

CompTIA Linux+ は、ANSI (American National Standards Institute : 米国規格協会) により、ISO / IEC 17024 : 2012 認定を取得しています。ISO17024 は、公正に人材を評価する認定資格の開発プロセスが認定されています。CompTIA Linux+ は、公正かつ正確に人材のスキルを評価する認定資格として高い信頼性を得ています。



### " 業界の業界による 業界のための資格 "

CompTIA 認定資格は、試験作成委員会が中心となり、ニーズ調査・職務分析・リサーチを経て、SME (サブジェクトマターエキスパート) と呼ばれる現場関係者により開発が進められます。

#### CompTIA Linux+ SME

##### ■ 海外 / 一部抜粋

- US Dept. of Navy
- AEM Corporation
- ING Business Shared Services B.V.
- Microsoft
- SAIC
- Secure-24
- Telviso

##### ■ 日本 (50 音順)

- TIS 株式会社
- 日本電気株式会社
- 日本マイクロソフト株式会社



CompTIA Linux+ 取得後は、次のようなキャリアで活躍できます

- Linux 管理者
- ネットワーク管理者
- Web 管理者
- Linux データベース管理者
- システムアドミニストレータ

CompTIA Linux+ は、Linux で稼働するシステムの運用、管理を実施する管理者に必須とされるスキルを評価する認定資格です。

ベンダーニュートラルの資格として国際的に認知された資格であり、様々な Linux ディストリビューションを管理する上で共通して必要とされるスキルが網羅されています。Linux ディストリビューションの提供する認定資格を取得する上でのスキルパスとしても有効です。

CompTIA Linux+ 認定資格試験には、**多肢選択式の問題**に加え、正確にスキルを評価するために**パフォーマンススペースの問題が含まれる Linux 唯一の認定資格**です。

Linux すべての主要ディストリビューションに関連するタスクが出題され、CompTIA Linux+ 取得後は、ベンダー / ディストリビューション固有のスキルを育成するための基礎となるスキルを育成します。

## 主な出題範囲

CompTIA Linux+ は、Linux 関連の設定、監視、サポート、サーバー運用における 9 ～ 12 カ月の業務経験を想定して開発されています。Linux オペレーティングシステムを実行しているサーバーの構成、監視、サポートや、セキュリティ、カーネルモジュール、ストレージとビジュアルライゼーション、エンタープライズレベルでのデバイス管理、Git とオートメーション、ネットワークとファイアウォール、サーバーサイドとコマンドライン、サーバー（クライアントベース）、トラブルシューティング、SELinux といった項目から出題されます。

| CompTIA Linux+（試験番号：XK0-004） |     |
|------------------------------|-----|
| 1.0 ハードウェアとシステムの設定           | 21% |
| 2.0 システムのオペレーションとメンテナンス      | 26% |
| 3.0 セキュリティ                   | 19% |
| 4.0 Linux のトラブルシューティングと診断    | 20% |
| 5.0 自動化とスクリプティング             | 14% |

## 試験実施概要

| 試験番号    | 問題数      | 制限時間 | 合格ライン                   |
|---------|----------|------|-------------------------|
| XK0-004 | 最大で 90 問 | 90 分 | 100 ～ 900 のスコア形式 720 以上 |

認定資格の詳細情報は、下記 Web サイトをご覧ください：

[https://www.comptia.jp/certif/comptia\\_certification/](https://www.comptia.jp/certif/comptia_certification/)